

金融トラブルから身を守るためのシンポジウム

金融庁と沖縄総合事務局では、金融商品・サービスを巡るトラブルについて、被害の発生や拡大を防止する観点から、「金融トラブルから身を守るためのシンポジウム」を共同で開催しました。

開催概要

1. 開催日時：平成29年2月13日（月）14:00～16:10

2. 開催場所：ザ・ナハテラス 3階アダン

3. 当日のプログラム

第1部 **基調講演「より賢い消費者になろう」** 講師 菊地 幸夫（弁護士）

金融トラブルの相談実例紹介（金融庁）

第2部 **パネルディスカッション**

コーディネーター：深野 康彦（有限会社ファイナンシャルリサーチ
代表・ファイナンシャルプランナー）

パネリスト：菊地 幸夫（弁護士）

豊里 友仁（沖縄県警察本部生活安全部
生活安全企画課 課長補佐）

仲宗根 京子（NPO法人消費者センター沖縄理事長
消費生活アドバイザー）

4. 参加者：76名

5. 主催：金融庁・沖縄総合事務局

6. 後援：内閣府・消費者庁・文部科学省・金融広報中央委員会

シンポジウムの模様

基調講演・金融トラブルの実例紹介

弁護士の菊地幸夫氏から、加害者側弁護人として関わった特殊詐欺事件についてご講演いただきました。

また、金融庁総務企画局政策課の竹内課長補佐から、金融庁の「金融サービス利用者相談室」の相談実績や相談室に寄せられた詐欺的な投資勧誘の相談事例についての紹介がありました。



パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、コーディネーターとしてファイナンシャルプランナーの深野康彦氏、パネリストとして、沖縄県警察本部の豊里友仁氏、NPO法人消費者センター理事長の仲宗根京子氏、基調講演に引き続き菊地幸夫氏に登壇いただきました。

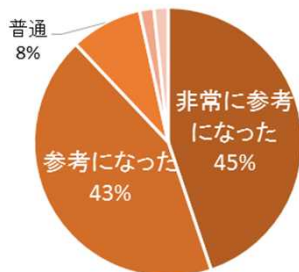
パネリストからは、「電話でお金の話がでたら、家族だけではなくセカンドオピニオンとして消費生活センターや警察、弁護士に相談すること」や「簡単に儲かる話はない。自分は絶対大丈夫だと過信しないこと」の呼びかけや、若者への金銭教育や自治会や老人会など地域の連携が重要であるとの提言がなされました。



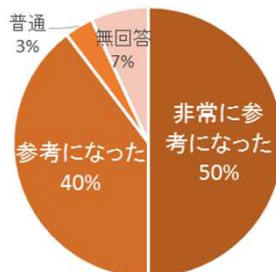
左から、コーディネーター 深野氏、パネリスト 菊地氏、豊里氏、仲宗根氏

アンケート結果

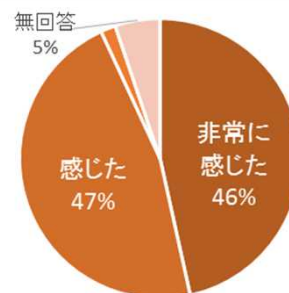
基調講演の内容について



パネルディスカッションの内容について



金融経済知識習得の重要性について



ご意見・ご感想

- ・金融トラブルは年配の方だけでなく、身近な問題だということが分かった。
- ・金融犯罪が低年齢化していることに驚いた。犯罪の手口、ターゲット、対処法を分かり易く知ることができた。
- ・様々なトラブル事例について紹介されたのが良かった。
- ・地域のコミュニティが大切だと思う。
- ・高齢者被害の実態や今後の取り組みに対する考え方が議論され興味深かった。
- ・特殊詐欺に限らず、金融経済の基本を小さい頃から教育していくべき。

他にも多くのご意見・ご感想をいただきました。

本シンポジウムにご参加いただき誠にありがとうございました。